

韓国KBS

日本のSAS対策を取材



韓国KBSの取材を受ける
作本副理事長

韓国放送公社(KBS)が日本の睡眠時無呼吸症候群(SAS)対策に興味。KBSは5日から7日にかけて日本のSAS対策を先進事例として5日に全日本トラック協会、6日にNPO法人ヘルスケアネットワーク(OCHIS)、7日に医療機関やトラック事業者を精力的に取材した。

この中でOCHISへの取材は作本貞子副理事長が対応。KBS側からOCHISの設立時期や設立理由から始まり、SASスクリーニング検査の結果から運転者にどんな対応を勧めるか、さらに検査実施でのSAS対応の変化や効果などを聞かれ、作本副理事長は検査実績や効果、検査後のフォローなどを丁寧に答え

た。KBSは自国でもSASが増加傾向にあることに警鐘を鳴らすことを趣旨としており、特に日本が国レベルで居眠り運転に危機感を持つようになったことについて熱心に聞いた。KBSは日本の取り組みを自国で紹介し、韓国政府に取り組みを促すアプローチをかけたいとしている。